

一戸町立小中学校の耐震診断結果について

町立小中学校施設の耐震診断結果についてお知らせします。

学校は、子どもたちの学習の場であるとともに、その多くは災害時の避難場所になるなど、大切な役割を担っています。

一戸町では建築基準法の改正（昭和56年6月）前の基準で建築された校舎等について、平成18年度から最重要課題の一つとして耐震診断・地震補強等の実施に取り組んでまいりました。

さらに町民の皆様と情報を共有し小中学校施設の耐震化を進めていくために、これまで実施してきた耐震診断の結果をお知らせします。

耐震診断結果

耐震診断の結果は以下のとおり

施設名		構造階数	完成年月	診断結果（実施年月/値）			備考
				優先度調査 ランク (SP)	耐震診断 I s 値		
					一次	二次	
小鳥谷小学校	校舎	R 2	S41. 2	-	H18. 12 0. 40	H19. 12 0. 58	補強済み
		S 1			H18. 12 ⑤	- -	
鳥越小学校	校舎	R 2	S55. 3	- -	H18. 12 0. 27	- -	
	屋体	S 1	S55. 11	H18. 12 ⑤	- -	- -	
小鳥谷中学校	校舎	R 3	S46. 12 S48. 1	- -	H18. 12 0. 14	H25. 3 0. 43	
		S 1	S48. 6	H18. 12 ⑤	- -	- -	
奥中山中学校	校舎	R 3	S46. 12 S47. 11	- -	H18. 12 0. 20	H21. 6 0. 61	補強済み
		S 1	S48. 7	H18. 12 ④	- -	- -	

※ 昭和56年以前の棟数7棟全部について耐震診断を実施したので耐震診断実施率は100%になります。

※ 昭和56年7月以降の施設は新耐震基準で設計され耐震診断の必要がないので表示しません。

優先度調査について

鉄骨造の屋内運動場（屋体）で採用した簡易診断法で、主に鉄骨部材の腐食や変形・損傷・欠損、組み立て方等によりランク付けするものです。

全体のなかで優先度を定めるために実施するので、省いても良いとされるコンクリート強度試験等はありませんでした。

優先度ランク（SP）は⑤が一番低く（安全）①が一番高く（危険）なります。

耐震一次診断について

鉄筋コンクリート造校舎で採用した簡易耐震診断方法で、鉄筋量の詳細等は反映されませんが柱や壁の断面形状や経年等に関する数値等を入力し算定します。

簡易診断は精密診断に比べ大まかな診断なので安全率を高く見ることになるので、結果として I s 値が低めに算定されます。

全体のなかで優先度を定めるために実施したので、省いても良いとされるコンクリート強度試験等はありませんでした。

耐震二次診断について

優先度調査や耐震一次診断、老朽度や統合等から総合的に判断し緊急性の高い施設について実施した精密診断方法です。

耐震一次診断をさらに詳細(鉄筋量や粘り強さに関する諸係数の計算が加わりコンクリート強度試験等も義務付けられる)に算定する精密診断の方法。

Is 値

耐震一次診断や二次診断及び補強設計の結果、算出される建物の耐震性を表す代表的な指標値。

Is 値が 0.7 未満のものは地震補強が必要と判定され、補強後に 0.7 以上になるように設計されます。

構造

R : 鉄筋コンクリート造 S : 鉄骨造

耐震化の状況 (平成 25 年 5 月の状況)

健全建物も含めた耐震化率は以下のとおり

学校別		全棟数	昭和 57 年以降の棟数	昭和 56 年以前の棟数	地震補強済み建物	健全及び補強建物	耐震化率
小学校	校舎	7	5	2	1	6	85.7%
	屋体	6	5	1	0	5	83.3%
中学校	校舎	3	1	2	1	2	66.7%
	屋体	4	2	2	0	2	50.0%
小・中計		20	13	7	2	15	75.0%

※ 木造では 2 階建て以下又は延床面積 500 m²以下、非木造では平屋又は 200 m²以下の建物は含まれておりません。

※ 補強工事中の施設は耐震化済みの施設として扱います。

※ 屋体の全棟数の中には、屋体専用の非木造 2 階建ての渡り廊下も 1 棟含まれます。

※ 屋体とは体育館のことで「屋内体操場」の略からきたと言われていました。

※ 今後も最重要課題の一つとして耐震化促進に取り組んでまいります。

問い合わせ先

一戸町教育委員会事務局学校教育課

岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川鉢 24 番地 9

〒028-5311

tel : 0195-33-2111

fax : 0195-32-2001

e-mail : kyouiku@town.ichinohe.iwate.jp